

C-2 学習環境と表現方法の工夫 学習環境のデザイン

学習活動

- ・うさぎさんこんにちは
(1/13時 出会い)
- ・教室に招待しよう
(3/13時 ふれあう)
- ・ひみつを見つけよう！
(4/13時 気づき)

児童の思い

やってみたい
な
おもしろそう
こんなこと
あんなこと

1. 単元構成の検討

- ・思いや願いがふくらむ内容か。
- ・生き生きと活動できる課題か。
- ・興味・関心が持続できる展開か。

2. 時間・空間・仲間の工夫

- ・ゆったり対象と関わる時間の保障から、多くの気づきや発見が生まれる。
- ・のびのび活動できる空間から、思考を伴った表現活動が充実する。
- ・仲間（友だち）と関わりながら、気づきを深め、思いや願いを実現させていく。



まねっこあそびをしようよ。



えさをやりたいな。なでたいな。だっこしたい。

3. 学びを発展させる工夫

- ・専門的な立場からの支援で、知的な気づきや発見が生まれる。
- ・人（友だちや先生、獣医さん）と関わりながら、五感を磨き、感性を豊かにする。
- ・周りの人の働きかけから自分自身の成長を実感し、自信や充実感、満足感を持つ。

- ・じゅういさんがやってきた
(6/13時 知りたいことを質問して知的な気づきに)
- ・なかよし大作戦のじゅんぴをしよう
(8/13時 大好きなうさぎのために喜ばせてあげたいという強い思いでふれあいを)
- ・もっとなかよし大作戦！
(11/13時 心音を聴く体験で自分と比べて、いのちをより身近なものに感じ、考える場に)

・どうして耳が長いの？
・どうして足が速いの？
・なかよくなるには
どうしたらいい？

・大好きなえさを食べさせてあげるよ。
・暗いトンネル作ったからあそぼうね。

・だっこしたら、あったかい。
・わきに入れて暗くしてだっこしたら安心しとったよ。しんぞうが、トントントンってはやかった。

多様な学習活動 と 表現方法の工夫

観察・飼育、調べる、ふれあい、絵や作文、書く、話し合いなど

「うさぎさん こんにちは」



せんせい、あのね。みるやすみ
なかにわで、うさぎさんを
いまして、うさぎさんが
へおがていまして、か
なにかしゃべって、うさぎさん
いまして、うさぎさん
た。こやのなかにもどってしま
いまして、うさぎさん
いまして、うさぎさん
いまして、うさぎさん

「お世話の手伝いをしよう」



飼育小屋のそうじやえさ
やりの世話の手伝いを
行う。くさいのは、かわい
そうだから、きれいにし
てあげるよ。

図書室に行って、飼育の
仕方の本がないか調べ
てみよう。

「なにかしゃべっているようにおもえる。」
とは、うさぎの気持ちをわかってあげよ
うというやさしさの表れ。

「いつもいっしょ ふれあいタイム」



コロんちゃんは、一
ばん小さくて、かる
いよ。はしるのも一
ばんはやいよ。

おとなしいちゃびちゃん。目があ
かいよ。はなをピクピクさせて、
みんなを見てる。

だっこすると、あったか
い。ふわふわしていて、
気持ちいいよ。



話し合い活動で 思いや願いを共有 「もっとなかよし大作戦の作戦タイム！」

ねずちゃんは、元
気だからあそびば
をつくらう！

じゃあ、二かいだ
でのレストランは
どうかな？

よくたべるか
ら、レストラン
もいいよ！

ぼくは、トンネ
ルをつくって、
よろこばせて
あげたいな。



ねずちゃんのひみつ（特性）を考えながら、ねずちゃんのために何かしてあげたいとアイデアを出し、ワークシートで計画を立てた。そして、それぞれにこだわりを持って3グループに分かれた。一人ひとりが「こんなことしたい、あんなことしてあげたい」と思いや願いを話し合い、友だちの気づきを共有しながら次の学習へと主体的に進めていった。